

## 好配当海外株ファンド (ラップ向け)

追加型投信／海外／株式

第4期末 (2018年10月25日)	
基準価額	10,382円
純資産総額	100百万円
騰落率 (上昇率・下落率)	-6.4%
分配金合計	0円

第4期 (決算日：2018年10月25日)

作成対象期間  
(2017年10月26日～2018年10月25日)

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、わが国を除く世界主要国の株式等を実質的な主要投資対象とし、配当利回りが高い銘柄および配当成長性が高いと判断される銘柄に投資し、高水準の配当収入と中長期的な株価値上がり益の獲得をめざして運用を行っております。ここに運用状況をご報告申し上げます。当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくご願ひ申し上げます。

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、下記の手順で閲覧できます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社まで、お問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧およびダウンロード方法>

- ①右記ホームページにアクセス
- ②「基準価額一覧」もしくは「ファンド検索」から当ファンドを検索し、選択
- ③ファンドの詳細ページで運用報告書(全体版)を選択



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用  
フリーダイヤル **0120-151034**  
(受付時間：営業日の9:00～17:00、  
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

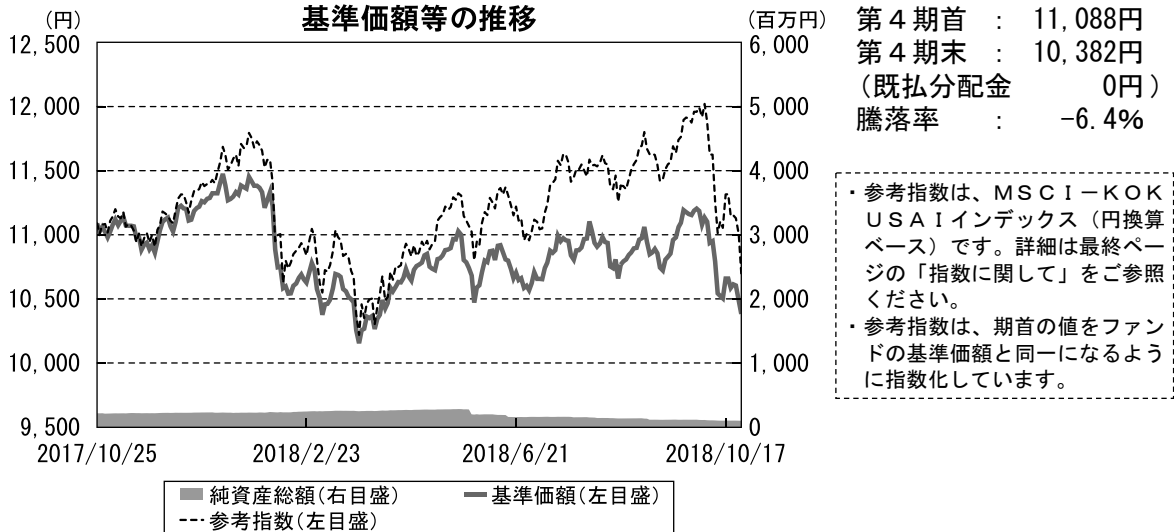
## 運用経過

## 当期中の基準価額等の推移について

（第4期：2017/10/26～2018/10/25）

## 基準価額の動き

基準価額は期首に比べ6.4%の下落となりました。



・分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。



実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

## 基準価額の主な変動要因

## 下落要因

米ドルやユーロ、豪ドルなどが対円で下落したこと等を背景に、基準価額は下落しました。

## 1 万口当たりの費用明細

（2017年10月26日～2018年10月25日）



記載された金額は、期間中にファンドを介して受益者のみなさまが間接的にご負担いただいた費用です。


項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 76	% 0.695	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× （期中の日数÷年間日数）
（ 投 信 会 社 ）	（ 65 ）	（ 0.597 ）	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	（ 6 ）	（ 0.054 ）	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	（ 5 ）	（ 0.043 ）	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	18	0.164	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
（ 株 式 ）	（ 18 ）	（ 0.164 ）	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	2	0.017	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷ 期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	（ 2 ）	（ 0.017 ）	
(d) そ の 他 費 用	16	0.147	(d) その他費用＝期中のその他費用÷ 期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	（ 16 ）	（ 0.144 ）	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（ 監 査 費 用 ）	（ 0 ）	（ 0.003 ）	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（ そ の 他 ）	（ 0 ）	（ 0.000 ）	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	112	1.023	
期中の平均基準価額は、10,866円です。			

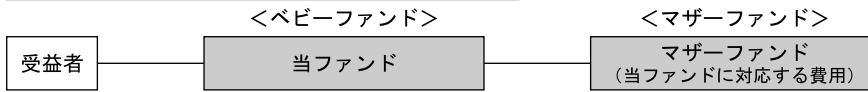
（注）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

（注）各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

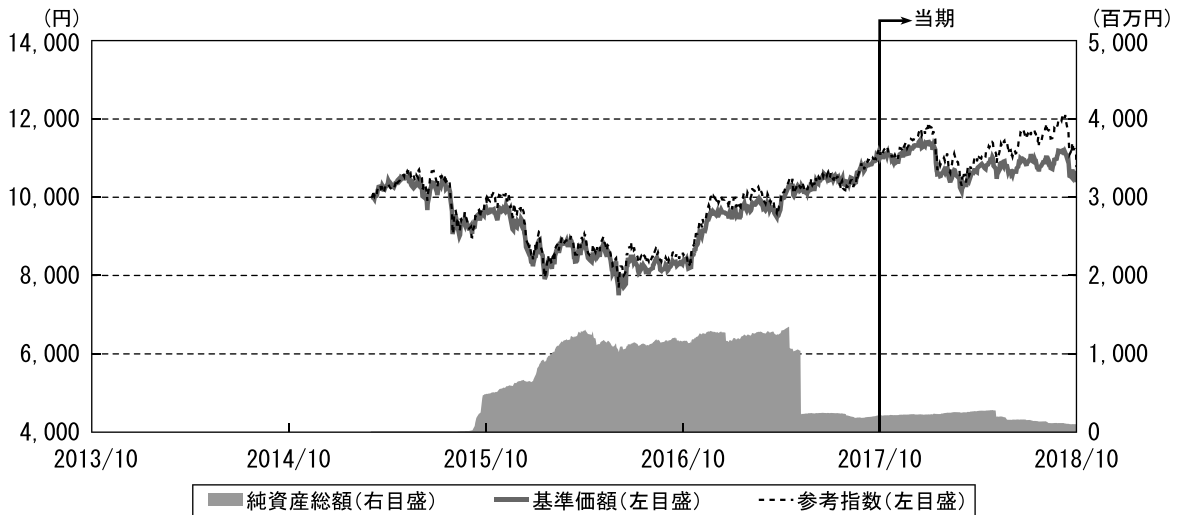
【費用開示の仕組み】

下記  部分の費用が費用明細に含まれています。



## 最近5年間の基準価額等の推移について

(2013年10月25日～2018年10月25日)



- ・参考指数は、設定時の値を基準価額と同一となるように指数化しています。
- ・海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

## 最近5年間の年間騰落率

	—	—	2015/10/26 期初	2016/10/25 決算日	2017/10/25 決算日	2018/10/25 決算日
基準価額 (円)	—	—	9,733	8,366	11,088	10,382
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	—	—	0	0	0
基準価額騰落率	—	—	—	-14.0%	32.5%	-6.4%
参考指数騰落率	—	—	—	-13.9%	30.1%	-3.5%
純資産総額 (百万円)	—	—	486	1,166	217	100

- ・騰落率および期間分配金合計については、年間の値を表示しており、期間が1年に達していない場合には表示していません。

参考指数は、MSCI-KOKUSAIインデックス（円換算ベース）です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

**投資環境について**

（第4期：2017/10/26～2018/10/25）

## ◎海外株式市況

- ・ 期初から2018年1月下旬までの世界の株式市場は、2017年12月に米国において税制改革法案が成立したことなどもあり、期初よりほぼ一本調子で上昇しました。しかし1月下旬以降は、米国の長期金利の上昇が意識されたことなどから、景気の緩やかな回復と豊富な流動性に支えられた適温相場（ゴルディロックス相場）からの脱却が意識されたことにより、株式市場は下落しました。その後は値頃感から買戻しの動きが入る局面もありましたが、米国の政治動向に左右される形で、値動きの荒い展開となりました。その後、4月末に開催された韓国と北朝鮮による南北首脳会談によって、北朝鮮を震源とする政治的な不透明感がやや払拭され、グローバルの株式市場は上昇して推移しました。6月以降は米中が互いに関税を強化しあう貿易戦争が本格化し、中国をはじめとする新興国の株式は期末まで下落基調で推移しました。米国等の先進国株式は、貿易戦争の動向に左右されながらも、底堅い米国景気等を背景に堅調に推移しました。9月以降期末にかけては、貿易戦争等によりグローバル経済への不透明感が強まったこと等から先進国株も下落しました。

## ◎為替市況

- ・ 為替市況は、期首に比べて1.7%の円高・米ドル安、4.6%の円高・ユーロ安、10.2%の円高・豪ドル安となりました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

**i** 期間中にどのような運用をしたかを確認できます。

### <好配当海外株ファンド（ラップ向け）>

- ・当ファンドは好配当海外株マザーファンド受益証券を通じて、わが国を除く世界主要国の株式に投資しています。

### <好配当海外株マザーファンド>

基準価額は期首に比べ5.8%の下落となりました。

- ・世界を北米、欧州およびアジア・オセアニアの3地域に分け、地域毎の配当利回りの水準、配当成長性の水準および流動性等を勘案し、地域別配分を決定しています。期末時点においては各地域概ね均等の配分としております。
- ・組入銘柄については地域毎に配当利回りが高い銘柄および配当成長性が高いと判断される銘柄の中から流動性等を勘案して調査対象銘柄を決定し、減配リスク等をチェックし選定しています。組入銘柄数については配当の水準や成長性を勘案した結果、期首の113銘柄から期末は116銘柄となりました。
- ・上記の運用の結果、米ドルやユーロ、豪ドルなどが対円で下落したこと等により、基準価額は下落しました。パフォーマンスに寄与・影響した主な銘柄は以下の通りです。

#### （プラス要因）

##### ◎銘柄

- ・CME GROUP INC（米国、各種金融）：米国において取引所を運営する会社です。先物や先物オプション、金利、株価指数、外国為替およびコモディティなどの取引を提供しています。マーケット環境が大きく変動を伴い推移する中、取引量は増加傾向にあり、この結果堅調な業績を維持し、株価も好調に推移しました。

#### （マイナス要因）

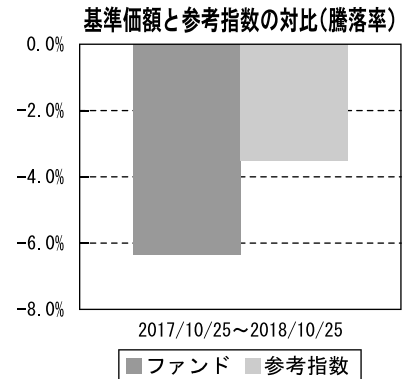
##### ◎銘柄

- ・BNP PARIBAS（フランス、銀行）：フランスの総合銀行であり、預金業務のほか、法人・個人向け融資、投資銀行業務等を幅広く行っています。2018年5月に発表された同社の1-3月期決算において、利益が一部市場予想に到達しなかったことや、イタリアにおける信用リスクの高まり等が懸念され、株価は軟調に推移しました。

## 当該投資信託のベンチマークとの差異について

**i** ベンチマークまたは参考指数と比較することで、期間中の運用内容を評価することができます。

- ・当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
- ・参考指数はMSCI-KOKUSA I インデックス（円換算ベース）です。



## 分配金について

**i** 分配金の内訳および翌期繰越分配対象額（翌期に繰越す分配原資）がどの程度あるかを確認できます。

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額的水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】 (単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第4期
	2017年10月26日~2018年10月25日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,507

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。



## 今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

### <好配当海外株ファンド（ラップ向け）>

#### ◎今後の運用方針

- ・運用の基本方針に則り、マザーファンド受益証券を高位に組み入れる方針です。

### <好配当海外株マザーファンド>

#### ◎運用環境の見通し

- ・米国を含むグローバルの株式市場は、今後も米中による貿易戦争の動向に左右される展開が続くと考えられます。この先の株式市場の焦点としては、足下堅調な米国景気に対して貿易戦争が実体経済に与える影響、米国における中間選挙の結果がトランプ大統領の政策に与える影響、米連邦公開市場委員会（FOMC）の利上げペースなどが挙げられます。これら要因が、株式市場全体のセンチメントにどのような影響を与えるかが、この先の運用環境においては重要なポイントとなりますが、当面は米中間の貿易戦争に対する先行き不透明感から変動の大きい展開が続きそうです。
- ・欧州は、購買担当者景気指数（PMI）などの指標が今年に入って低下傾向にある中、米中貿易戦争等によるセンチメントの悪化が懸念されます。英国による欧州連合（EU）離脱交渉が進展していないこともあり、やや先行きに警戒感が高まっています。
- ・中国においては、預金準備率の引き下げや鉄道投資の拡大等緩和的な政策が出てきています。一方で米中貿易戦争の影響もある中で、これらが景気の下支えとなりうるかどうかを確認する展開を予想しています。このような不確定要素の大きい市場環境の下、引き続き将来的な配当収入の最大化や中長期的な値上がり益を獲得するため、個別企業の配当の水準や成長性、持続性を定量面だけではなく定性面からも調査し、クオリティの高い銘柄群を中心に投資を行います。

#### ◎今後の運用方針

- ・引き続き高水準の配当収入と中長期的な株価値上がり益の獲得をめざして運用を行います。株式の組入比率については運用の基本方針にしたがい、引き続き高位（90%以上）を維持する方針です。
- ・地域別配分および銘柄選択に際しては運用の基本方針に則り、配当利回り、配当成長性、流動性等を勘案して決定します。また、個別銘柄選定にあたっては減配リスク等のチェックを行い、配当実現の確度に留意した運用を行います。

## お知らせ

**i** 受益者のみなさまに知っていただきたいファンドに関するお知らせを掲載しています。

### ◎約款変更

- ・ 当社ホームページアドレス変更に伴う記載変更を行うため電子公告のアドレスを変更し、信託約款に所要の変更を行いました。（変更前（旧）<http://www.am.mufg.jp/>→変更後（新）<https://www.am.mufg.jp/>）  
（2018年1月1日）

### ◎その他

- ・ 本資料内における旧シティ債券インデックスは、ブランド変更に伴い、FTSE債券インデックスの名称に変更しています。
- ・ 2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

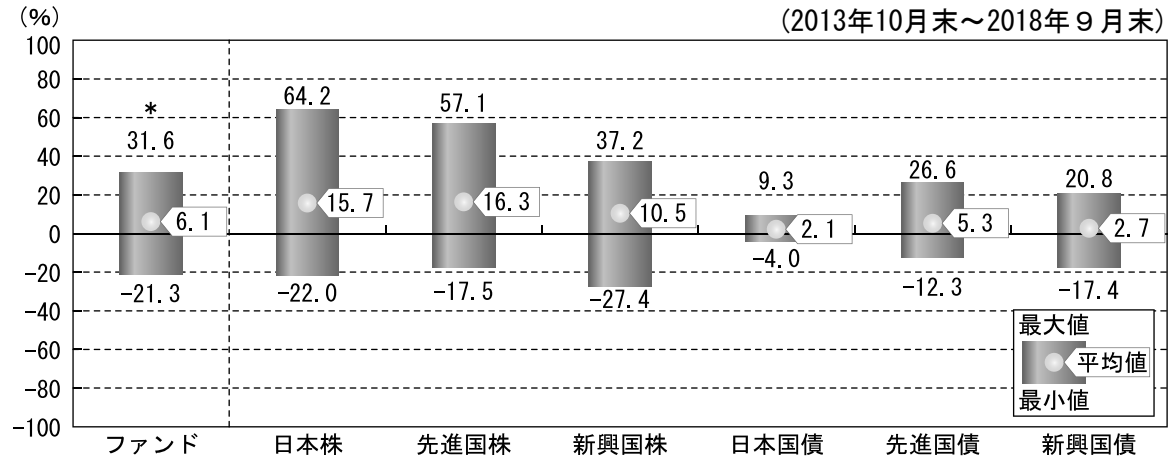
\* 本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）にて開示を行っている場合があります。

## 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2024年10月25日まで（2015年3月30日設定）	
運用方針	好配当海外株マザーファンド受益証券への投資を通じて、わが国を除く世界主要国の株式を実質的な主要投資対象とし、配当収益の確保および中長期的な値上がり益の獲得をめざします。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要投資対象	当ファンド	好配当海外株マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	好配当海外株マザーファンド	わが国を除く世界主要国の株式を主要投資対象とします。
運用方法	わが国を除く世界主要国の株式等を実質的な主要投資対象とし、配当収益の確保および中長期的な値上がり益の獲得をめざします。	
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	
	分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）	

## ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較

**i** 当ファンドの基準価額の変動率を他資産と比較することでファンドの値動き特性を捉えるのにお役立てください。



○上記は、2013年10月から2018年9月の5年間ににおける1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

\* ファンドについては2016年3月～2018年9月の同様の騰落率を表示したものです。

### ○各資産クラスの指数

- 日本株 : TOPIX (配当込み)
- 先進国株 : MSCIコクサイ・インデックス (配当込み)
- 新興国株 : MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み)
- 日本国債 : NOMURA-BPI (国債)
- 先進国債 : FTSE世界国債インデックス (除く日本)
- 新興国債 : JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- ・全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。
- ・騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

## 当該投資信託のデータ

### 当該投資信託の組入資産の内容

(2018年10月25日現在)

#### 組入ファンド

(組入銘柄数：1銘柄)

ファンド名	第4期末 2018年10月25日
好配当海外株マザーファンド	99.7%

・比率は当ファンドの純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。

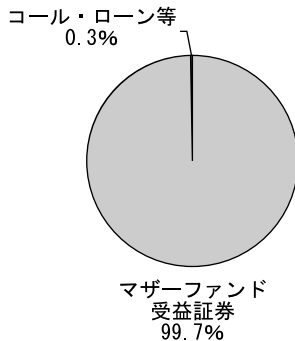
#### 純資産等

項目	第4期末 2018年10月25日
純資産総額	100,455,351円
受益権口数	96,758,247口
1万口当たり基準価額	10,382円

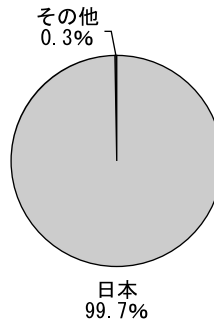
・当期中において  
 追加設定元本は 91,794,033円  
 同解約元本は 191,026,471円 です。

#### 種別構成等

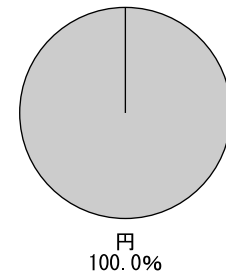
##### 【資産別配分】



##### 【国別配分】



##### 【通貨別配分】

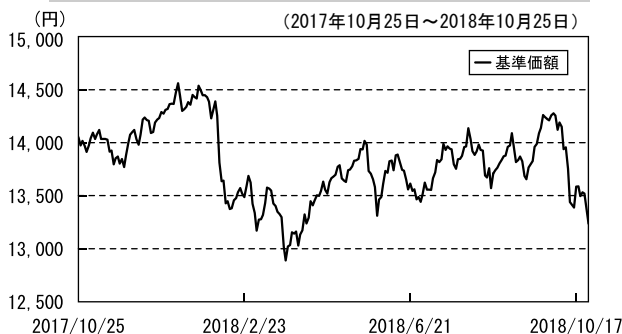


- ・比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。
- ・国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合わせて運用しているものを含みます。
- ・【国別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行国、発行通貨を表示しています。

## 組入上位ファンドの概要

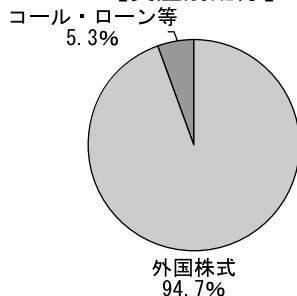
## 好配当海外株マザーファンド

## 基準価額の推移

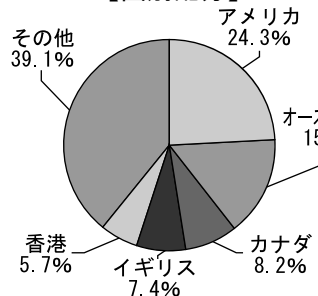


## 種別構成等

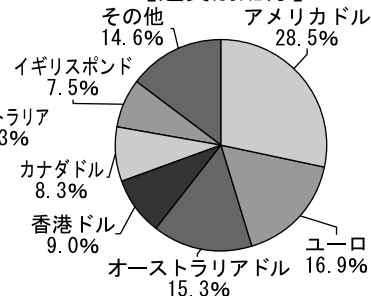
## 【資産別配分】



## 【国別配分】



## 【通貨別配分】



- ・比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。
- ・国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

## 1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料	20	0.142
（株 式）	(20)	(0.142)
(b) 有価証券取引税	2	0.014
（株 式）	(2)	(0.014)
(c) その他費用	21	0.148
（保管費用）	(20)	(0.148)
（その他）	(0)	(0.000)
合 計	43	0.304

期中の平均基準価額は、13,808円です。

- (注) 1万口当たりの費用明細は、組入れファンドの直近の決算期のものです。費用項目の概要については、2ページの注記をご参照ください。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(2018年10月25日現在)

## 組入上位10銘柄

(組入銘柄数：116銘柄)

	銘柄	種類	国	業種/種別	比率
1	MARINE HARVEST	株式	ノルウェー	食品・飲料・タバコ	1.4%
2	CME GROUP INC	株式	アメリカ	各種金融	1.4%
3	AMEREN CORPORATION	株式	アメリカ	公益事業	1.3%
4	TARGET CORP	株式	アメリカ	小売	1.2%
5	WEC ENERGY GROUP INC	株式	アメリカ	公益事業	1.1%
6	RED ELECTRICA CORPORATION SA	株式	スペイン	公益事業	1.1%
7	NN GROUP NV	株式	オランダ	保険	1.1%
8	KOHL'S CORP	株式	アメリカ	小売	1.1%
9	HANNOVER RUECK SE	株式	ドイツ	保険	1.1%
10	ENAGAS SA	株式	スペイン	エネルギー	1.1%

- ・比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
- ・なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

## 指数に関して

### ○ファンドの参考指数である『MSCI-KOKUSA I インデックス（円換算ベース）』について

MSCI-KOKUSA I インデックスとは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。MSCI-KOKUSA I インデックス（円換算ベース）は、MSCI KOKUSA I インデックス（米ドルベース）をもとに、委託会社が計算したものです。また、MSCI-KOKUSA I インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。

### ○「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

#### TOPIX（配当込み）

TOPIX（配当込み）とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数（TOPIX）に、現金配当による権利落ちの修正を加えた株価指数です。TOPIX（配当込み）に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の方法の変更、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の停止またはTOPIX（配当込み）の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

#### MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。

#### MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。

#### NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPIとは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（国債）はそのサブインデックスです。わが国の国債で構成されており、ポートフォリオの投資収益率・利回り・クーポン・デュレーション等の各指標が日々公表されます。NOMURA-BPI（国債）は野村證券株式会社の知的財産であり、運用成果等に関し、野村證券株式会社は一切関係ありません。

#### FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

#### JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J.P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ.P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。



三菱UFJ国際投信